

安芸高田市国民健康保険

第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画

(平成30年度～平成35年度)

1. 計画策定の趣旨

データヘルス計画は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づくもので、平成27年1月に第1期データヘルス計画（平成27年度～平成29年度）を策定し、健康・医療情報等のデータ分析に基づいた被保険者の健康保持増進と医療費適正化のための保健事業に取り組んできました。

また、特定健康診査等実施計画は「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づくもので、平成25年3月に第2期特定健康診査等実施計画（平成25年度～平成29年度）を策定し、糖尿病等の生活習慣病予防を目的とした特定健康診査及び特定保健指導を実施してきました。

平成29年度末に両計画期間が終了することから、平成30年度から平成35年度までを共通の計画期間とし、両計画の整合性を図り一体的な策定と運用を求めた国の通知に基づき、両計画を一体的に策定しました。

2. 第1期データヘルス計画の振り返り

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況は次のとおりです。 (表1)

事業名	目的	目標値		達成状況		評価
		アウトプット	アウトカム	アウトプット	アウトカム	
受診勧奨事業	受診勧奨域の人を早期の受診につなぎ、重症化を防止、医療費の削減を図る	指導実施・状況把握率 100% 医療機関受診率 100%	検査値改善率 100%	指導実施率 100% 状況把握率 76.3% 医療機関受診率 69.2%	全員の検査数値が把握できないため評価できない	指導実施率は達成 状況把握率と医療機関受診率は未達成
生活習慣病重症化予防事業	糖尿病並びにCKDの重症化予防	3年間で150人に指導実施 指導実施率 20%	生活習慣改善率 70% 検査値改善率 100%	3年間で75人に指導実施 指導実施率 14.8%	生活習慣改善率 100% 検査値改善率 86.0%	生活習慣改善率は達成 検査値改善率は未達成
糖尿病予防事業	生活習慣の改善を促し糖尿病発症の予防	教室参加率 20%	生活習慣改善率 100% 検査値改善率 100%	教室参加率 19.4%	生活習慣改善率 100% 検査値改善率は次年度で確認するので未把握	教室参加率は未達成 生活習慣改善率は達成 検査値改善率は次年度評価のため未確定
ザイレリック医薬品差額通知事業	ザイレリック医薬品の普及率の向上	年12回 1回230通程度の通知	ザイレリック医薬品普及率 60.0%	年12回 半年平均173通	ザイレリック医薬品普及率 69.68%	達成
ICT(情報通信技術)を活用した健康管理事業	「お太助フォン」を利用した健康管理システムの構築	「お太助フォン」を活用した健康づくりについて取組んだが、システム構築ができる業者がなく、事業を断念した。				—

※CKD：慢性腎臓病のこと

3. 現状分析と課題

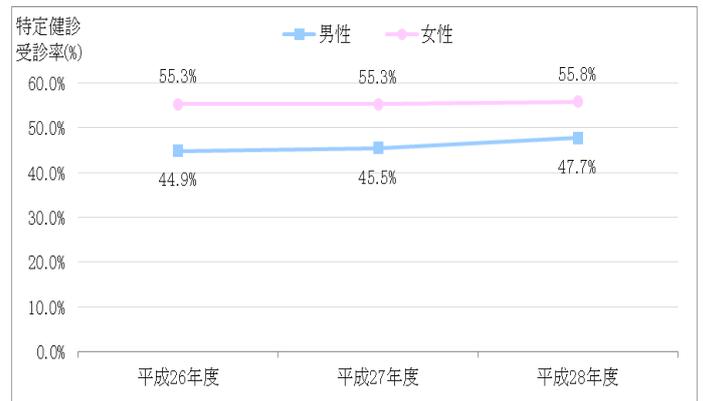
■特定健診受診率・健診結果から見る生活習慣病リスクの状況

- ①特定健診受診率は、平成28年度51.8%で、県29.8%、全国34.0%を上回っています。(表2)
- ②特定健診の男女別受診率は、女性がいずれの年度も男性を上回り、男女ともに平成26年度と比較すると、受診率が上昇しています。(表3)
- ③男女別年代別に特定健診受診率をみると、70歳から74歳の女性が一番高く、45歳から49歳の男性が一番低くなっています。(表4)
- ④健診の結果、有所見者割合が一番高いのはHbA1cで、増加傾向にあります。(表5)
- ⑤がん検診受診率は、子宮頸がん検診以外は、県平均よりも高くなっています。(表6)
- ⑥がん検診精密検査受診率は、大腸がん検診の精密検査受診率が一番低くなっています。(表7)

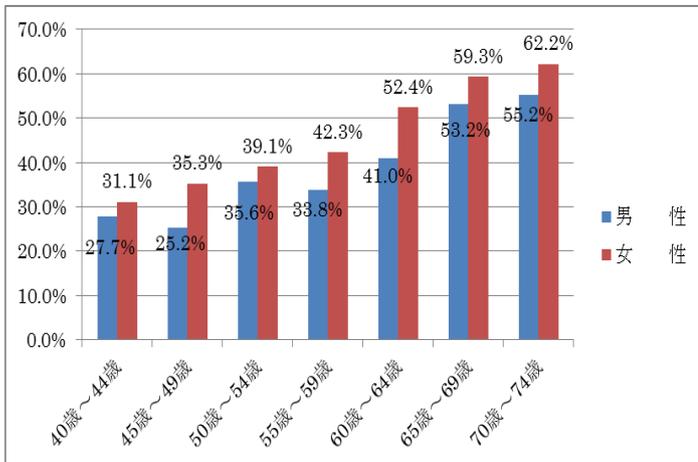
年度別・特定健診受診率 (表2)

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
安芸高田市	50.1%	50.4%	51.8%
県	28.8%	30.6%	29.8%
同規模	37.7%	39.2%	38.0%
国	35.0%	36.0%	34.0%

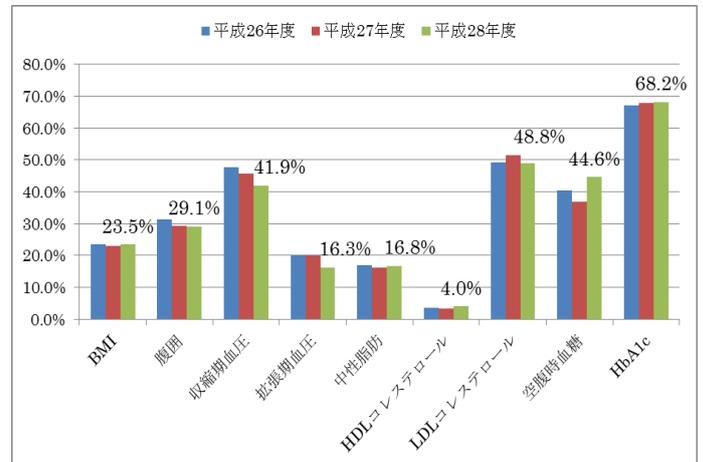
年度別・男女別・特定健診受診率 (表3)



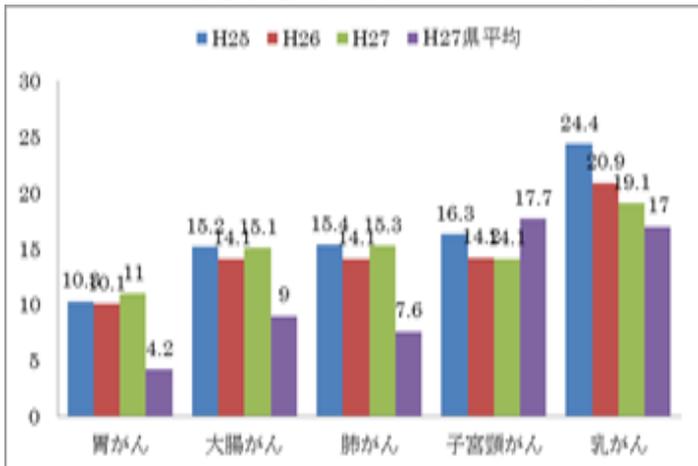
年齢別・男女別・年代別・受診率 (H28) (表4)



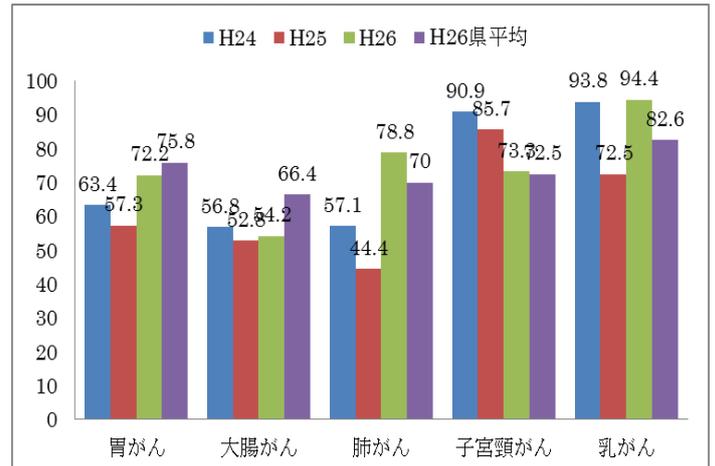
年度別・有所見者割合 (表5)



がん検診受診率 (%) (表6)



がん検診精密検査受診率 (%) (表7)



■医療費分析

- ① 高額レセプトの疾病では、腎不全が患者一人当たり医療費が一番高く約600万円(表8)、患者数では5位となっています。
- ② 糖尿病の医療費は、1年間で約1億3千9百万円、医療費の高い順では4位、患者数では3位となっています。(表9)
- ③ 患者一人当たり医療費が高額な疾病として、直腸S状結腸移行節及び直腸の悪性新生物(腫瘍)が3位となっています。(表10)
- ④ 人工透析患者の63.2%が生活習慣が起因しており、その内52.6%が糖尿病が起因となっています。(表11・表12)

高額レセプトの疾病

(表8)

順位	疾病分類 (中分類)	患者数 (人)	患者一人当たり医療費(円)
1	腎不全	13	5,925,299
2	その他心疾患	11	4,417,665
3	直腸S状結腸移行節及び直腸の悪性新生物(腫瘍)	10	3,924,727
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物(腫瘍)	12	3,519,855

※平成28年4月～平成29年3月診療分

●平成28年度疾病別医療費(疾病中分類による)

(表9)

	医療費総計が高い疾病			患者が多い疾病	
	疾病項目(中分類)	医療費 (千円)	構成比 (%)	疾病分類(中分類)	患者数 (人)
1位	その他の悪性新生物(腫瘍)	160,802	6.4	高血圧性疾患	2,508
2位	統合失調症、妄想性障害	152,606	6.1	その他の消化器系の疾患	2,209
3位	高血圧性疾患	140,291	5.6	糖尿病	2,153
4位	糖尿病	138,875	5.5	脂質異常症	2,124
5位	腎不全	118,121	4.7	その他の神経系の疾患	1,646

(表10)

	患者一人当たり医療費が高額な疾病			
	疾病項目(中分類)	医療費 (千円)	患者数 (人)	患者一人当たり 医療費(円)
1位	妊婦及び胎児発育に関する障害	1,954	1	1,954,125
2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	32,539	44	739,526
3位	直腸S状結腸移行節及び直腸の悪性新生物(腫瘍)	31,172	51	611,221
4位	白血病	7,110	13	546,961
5位	腎不全	118,121	225	524,985

透析患者の起因

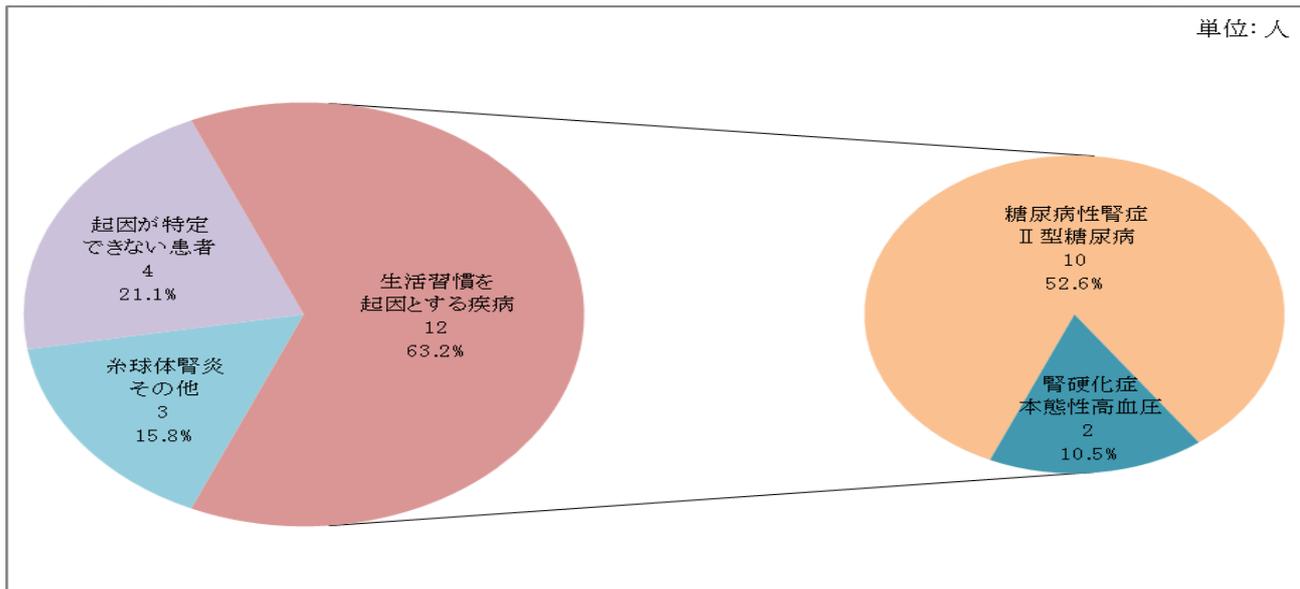
(表 11)

透析に至った起因	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を 起因とする疾病	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	-	-
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	10	52.6%	●	●
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-
④ 糸球体腎炎 その他	3	15.8%	-	●
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	2	10.5%	●	●
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧ 起因が特定できない患者 ※	4	21.1%	-	-
透析患者合計	19			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

透析患者の起因

(表 12)



■分析結果からの課題

- ① 特定健診受診率をみると、市全体では県内でも上位を占めているが、45歳から49歳の男性の受診率が低く、生活習慣のリスクに気づくためにも、特定健診の受診勧奨を徹底する必要があります。
- ② 胃がん、大腸がん検診の受診率は県平均より高いが、精密検査の受診率は県平均より低い状況で、受診勧奨をしていく必要があります。
- ③ 特定健診の結果から、有所見者割合が一番高いのは、糖尿病の指標でもあるHbA1cで、医療費総計が高い疾病及び患者数が多い疾病の中に糖尿病があります。人工透析患者の63.2%が生活習慣が起因しており、その内52.6%が糖尿病が起因しています。将来の人工透析患者数を抑制するためには、糖尿病を発症させない対策が必要です。
- ④ 高額レセプトの要因となっている疾病に、生活習慣病が重症化した腎不全があります。重症化予防が必要な病期にあたる人を特定し、主治医と連携を図り生活習慣の改善及び服薬管理や食事管理をすることで、病気の重症化を予防し、医療費の抑制を図ることが必要です。

4. 保健事業内容

有病率並びに総医療費、高額医療費等の推移を見ると、「健康あきたかた21計画」等の取組みが、医療費抑制に寄与しているものと考えられます。

さまざまな分析結果からの課題に対応した事業に取り組みます。

① 糖尿病予防事業

特定健康診査の結果から、糖尿病ハイリスク者（糖尿病予備軍）を抽出し、糖尿病予防教室への参加勧奨を個別に行い、薬剤師や管理栄養士、スポーツトレーナーによる講義及び体組成測定、食事・運動療法等の体験型プログラムを提供し、日々の生活で実践につながる指導を行います。

目標値	アウトプット	参加率20%
	アウトカム	生活習慣改善率100% HbA1cの維持改善率80%

② 生活習慣病重症化予防事業

特定健康診査の結果とレセプトの治療状況から対象者を抽出し、6カ月間の面談指導と電話指導を行います。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導修了後も自己管理ができよう指導を行います。

目標値	アウトプット	プログラム終了率80%
	アウトカム	生活習慣改善率100% HbA1cの維持改善率80% 腎機能（eGFR）の維持改善率80%

③ 特定健康診査受診勧奨事業

特定健康診査の必要性について理解を深め、特定健康診査未受診者への受診勧奨の個別通知を行います。

目標値	アウトプット	未受診者へ受診案内通知100%
	アウトカム	特定健康診査受診率60%

④ 大腸がん検診受診勧奨事業

大腸がん検診及び精密検査の未受診者へ検診の必要性について理解を深め、受診しやすい環境を整えます。

目標値	アウトプット	大腸がん検診未受診者への受診勧奨100% 大腸がん精密検査未受診者への受診勧奨100%
	アウトカム	大腸がん検診受診率20% 大腸がん精密検査受診率75%

⑤ ジェネリック医薬品差額通知事業

薬剤費軽減額が一定以上の対象者に、ジェネリック医薬品の説明と併せ薬剤費減額の情報を通知し、ジェネリック医薬品への切り替えを促し、患者負担と薬剤費の減額を図ります。

目標値	アウトプット	対象者への通知100%
	アウトカム	ジェネリック普及率80%

5. 計画の評価と見直し

目標の達成状況を毎年度評価を行うとともに、計画期間の途中でも必要に応じて計画の見直しを行います。また、計画の見直しについては、国保連合会の「支援・評価委員会」の支援を受けて行います。